

令和元年度(2019年度)つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目	2013年度実績値 (基準年度)	2019年度実績値	基準値比 (%)	達成状況	増減の主な要因
CO2排出量(t)	51,709	58,283	12.7	×	小学校の新設や空調機導入による電気使用量増加、エネルギー転換による都市ガス使用量の影響が大きい。
CO2排出量(t) (一般廃棄物の処理による排出を除く)	20,828	22,140	6.3	×	CO2排出内訳の約80%は電力によるもので、使用量の増加の影響が大きい。
電気使用量(kWh)	33,306,289	36,058,440	8.3	×	給食センター、消防本部の新設。 小学校の新設や空調機の導入による使用量増加が大きい。 また、メモリアルホール、クリーンセンターのゴミ焼却数増加 人口増加による配水場及び下水場ポンプの使用量が増加している。
ガソリン購入量(L)	217,266	188,473	△ 13.3	○	低燃費車両の購入及びエコドライブの取組みによって、燃費の向上が図られている。なお、市民サービスの拡充等により出先機関の使用量は増加傾向にある。
軽油購入量(L)	89,696	59,722	△ 33.4	○	消防署施設での使用量が増加したが、本庁舎、障がい者センター、保育所、幼稚園のバス所有台数が減少している。
A重油購入量(L)	162,800	69,700	△ 57.2	○	給食センターのエネルギー転換(A重油→都市ガス)によって大幅に減少している。
灯油購入量(L)	520,478	423,124	△ 18.7	○	全体的にエネルギー転換(灯油→都市ガス)によって減少しているが、クリーンセンターで増加している。
都市ガス使用量(m ³)	572,328	926,717	61.9	×	エネルギー転換によって使用量は増加している。主に小学校への都市ガスの空調導入、給食センター、消防庁舎の新設で増加している。その一方で、幼稚園施設での使用量が減少した。 ※軽油、A重油、灯油に比べて都市ガスのCO2排出係数は低い
プロパンガス使用量(kg)	43,080	40,162	△ 6.8	○	全体的に減少しているが、保育所での使用は増加している。
熱使用量(MJ)	6,895,973	7,376,748	7.0	×	主にカピオ、ノバホール、中央図書館、吾妻交流センター、つくばイノベーションプラザで使用されているエネルギーの1つ。全施設で増加しているが、ノバホールと吾妻交流センターは著しい。

※電気使用量は、クリーンセンターが使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量を除いて算出。